

新発田民主商工会  
新発田市豊町2-3-3  
TEL 0254-22-4390  
FAX 22-4705

2016.10.3  
NO 2027

## 待望 県知事選に米山隆一氏立候補!

脱原発・営業と暮らしを守るために奮闘しよう!

9月29日告示・10月16日投開票の新潟県知事選挙に、米山隆一氏(49歳・魚沼市出身)が立候補しました。

米山氏は、「新潟に新しいリーダー」を誕生させる会

(共産党・社民党・生活の党・新社会党・緑ら5党と市民団体で構成)の推薦を受け、無所属で出馬します。

「原発再稼働ノー」で住民の安心・安全を

米山氏は、9月23日の会見で、原発対応について

「泉田前知事の路線を継承し、住民の安心、安全を確保する」と述べ、「福島原発事故の検証なくして、再稼働の議論はない」という立場を強調しました。

一方、すでに立候補を表明している前長岡市長の森民夫氏は、原発推進の自民・公明両党の推薦を受け、再稼働の「是非」には言明せず、あいまいな態度で県民をごまかし続けています。

マスコミの「世論調査」では、再稼働「反対」は5割を超えていました。また、先の参院選では野党と市民の共闘で脱原発の統一候補・森ゆうこ氏が当選を勝ち取っています。さらに、最近の鹿児島県知事選では原発再稼働推進の現職知事をやぶり、反原発の三反園訓知事が誕生しました。

市民と野党が力を合わせれば、原発に依存しないエネルギー政策の推進で「県民の命と財産を守る」脱原発の新知事を誕生させることは十分に可能です。

米山新知事で福祉の充実・地域経済の振興を

米山氏は、医師と弁護士の立場から「子育て支援、医療、介護、福祉の充実をはかる」と強調しています。多くの住民・中小業者は「高くて払えない」国保税に苦しみ、滞納額が膨らむなか、県徴収機構による強権的な取り立てや「正規保険証」の取り上げなど、商売の継続や命に関わる重大な危機にさらされています。国保運営の中心が県に移管する一年半後を目前にし、福祉の充実をはかる米山新知事の実現は国保改善の運動にとつて決定的に重要です。

さらに、新潟県は「小規模企業の振興に関する条例」を制定しており、新知事がこの条例に沿つて小規模企業の振興策を立案・実施することで、県制度としての「住宅リフオーム助成」「商店版リフオーム助成」の創設も現実のものとなります。

力を合わせ、中小業者の営業と暮らし、命と平和を守るために、米山新知事の誕生に奮闘しましょう!

## 共済会理事会

支部中心に、すべての人に対する受診を呼びかけよう!

新発田民商の共済会は9月15日、理事会を開催、「大腸がん検診」について討議し、その実施日を11月20日～21日と決定しました。  
討論では、「今回は、『大腸がん検診』をすべての会員・家族・従業員に受診してもらおう」と話し合いました。そして、そのためには、支部を基本にして、①「全会員に検診を呼びかける会員訪問活動を旺盛に取り組む」②「訪問の中では、『未加入者名簿』などを活用し、共済加入をすすめる」③「目配り、気配り、心配り」の活動を前進させるため『共済係』の協力をお願いするなどの重点を決めました。



参加者からは「早速、支部役員会で議論し、具体化をはかるう!」、「民商の『大腸がん検診』は簡単で共済会員あれば無料。再検査でも5千円の助成金がでることを訴えよう!」と意見がだされました。  
詳細については、別紙をご覧ください!

外ヶ輪・鴻沼支部  
外ヶ輪支部と鴻沼支部の合同役員会が9月14日に開催され、「秋の運動」について相談しました。  
「秋の運動」の中心となる「大腸がん検診」については、「支部として全会員訪問に取り組み、受診者を増やすとともに共済加入拡大も進めること」を決定。また、確定申告に向けて「記帳学習会」を計画して「大腸がん検診」の会員訪問の中で支部の全会員にお知らせしていくことになりました。  
さらに、「支部主催の『なんでも相談会』は継続して行っている」と、10月13日(木)に開催することになりました。

## 今後の日程

10月3日	集団健診・結果返し 午後7時 民商事務所
10月4日	青年部主催 藤記学校 午後7時
10月5日	法人決算・申告学習会 午後1時30分
10月6日	第2回財政委員会 午後7時 民商
10月7日	パソコン教室 午後7時 民商事務所